

おどろが 議会だより

第133号 令和7年1月20日



注目!

町長に問う!

中学生模擬議会!!... 2

※写真は中学校学習発表会の様子です



小値賀中学校 中学生模擬議会ッ!

令和6年12月13日、小値賀中学校3年生9名全員が「中学生模擬議会」で一般質問に挑みました。小値賀中学校では郷土小値賀について学んだことを基に、自分の将来と小値賀町の未来について真剣に深く前向きに考えていけるようキャリア教育を進めています。1年生で学んだ小値賀学、2年生の職場体験学習、そして3年生で小値賀の未来について考えるその集大成の一つが、議場で執行部を前に一般質問を行う「模擬議会」です。かなり緊張していたようですが、人生における貴重な体験になったことと思います。



つちだれみ 土田 怜生議員

公共施設を充実させて 使いやすくして!

利用者のプライバシーが守られる公共のリーススペースが小値賀には少ない。空き家をもっと活用してはどうでしょうか。
また総合体育館などの公共施設の利用申し込みが、インターネットなどで簡単にできるようにすると良いと思います。

町内には空き家が多く問題となっていますが、子どものためのリーススペースとして空き家を活用してはどうでしょうか。
また子どもたちがよく利用する尼忠東店にはフリーWi-Fiがなく、タブレットや携帯を使っただけでできないので、町民にも観光客にも便利なフリーWi-Fiやコンセントを設置してはどうでしょうか。

子どもたちが有効に利用できるリーススペースの確保や、観光客にとっても利用しやすいよう、尼忠東店の環境整備は前向きに検討します。
またコンセントの使用についても、一定の制限が必要かとは思いますが、携帯電話等の充電が可能となるよう、あわせて検討します。

現在、総合体育館は電話での予約しかできません。インターネットやLINEでの予約ができれば、利用者が増えると思います。
町内でも「ちかまる君利用申請」や「国境離島島民割引カード申請」、「空き家バンク利用申請」はLINEで申請できるシステムを導入しています。

また「チャイルドシート利用予約」や「放課後よりみち塾」でも利用できるよう、現在開発中です。
総合体育館などの公共施設の予約については、インターネット等から簡単に予約できるように協議を進めていきたいと思っています。
ただ町内にある公共施設は、維持管理費や老朽化による修繕費が大きな問題となっており、施設の利便性や利用向上とあわせ、今後の方向性について検討を進めていく必要があると考えています。



かくなが たいせい 角永 太晟議員

空き地問題 町全体で取り組みを!

空き地の現状はどうですか。
人口減少・少子高齢化による土地利用ニーズの低下や土地の所有意識が薄らいできたことなどにより、町内でも未利用、管理不全の空き地が多くなっています。

町民利用の取り組みはありますか。
先日、本町の町会議員から「空き地バンク」を創設してはどうかという意見をいただきました。
まだ取り組んでいませんが、空き地の活用が進むと地域の活性化が図られると考えています。
空き地を有効活用していくにあたっての課題は何ですか。
土地が欲しい人と、土地を手放したい人をマッチングすることができ

る不動産業者が町内にはいないため、それができていない状況です。また、空き地は個人の所有物のため、行政がいろいろと口出しするわけにはいかず、そのようなところも課題です。

空き地をコンクリートで埋めているのを見かけますが、再利用するのには不便だと聞きます。
空き地についての講演会やボランティアによる清掃活動などの機会を設け、町民全体で空き地問題に関心をもってもらうことも大事なのではないのでしょうか。
空き地をコンクリートで舗装することは再利用に支障をきたす可能性がある一方で、草木の繁茂を抑え、管理負担の軽減にもつながります。

講演会を開くなど、空き地問題への町民の関心を高めることは、空き地を未然に防ぐ上でとても重要なことだと考えています。
空き地バンクに登録していただいたら、その空き地の清掃活動を町が働きかけるなど、町並みを守るために町単位での取り組みが必要ではないでしょうか。
制度ができたなら環境整備の方法も考えていきます。



とおよま そうすけ 遠山 颯佑議員

海ごみを回収して アップサイクルを!

「小値賀に住んでいると、海を近くに感じられるのはいが、近く感じるからこそ海にごみがあるととても気になる。」という声を聞きます。

海浜清掃などでごみを拾っても、次の日にはごみが元のようになっている状態がとても気になります。

町内での回収状況はどうですか。
本町では毎年、国の補助金を使った海ごみの回収事業を地元の建設業者に委託しています。

本来の建設業の仕事もあるため、時期を見ながら集中的に回収しているため、長期的な回収ができず、ボランティア活動に依存しているのが現状です。

町内でも回収したプラスチックをアップサイクルする取り組みはできませんか。
例えば静岡県では民間企業とコラボして、人気のあるプラモデルを海洋プラスチックで作る取り組みが行われているようです。
本町でもプレス機を使ったプロ

ーチや小物入れを販売しています。有名メーカーとコラボすることで、海ごみ問題を広く知ってもらうのではないのでしょうか。
海ごみのリサイクルについては、町としての取り組みはありませんが、アイランドツーリズム協会がプレス機を使った商品を販売しており、町としても今後、連携して取り組んでいきたいと考えています。

漂着ごみが日本一多いと言われる対馬市では、大量のごみを加工する施設や設備が充実しており、商品としてや原料として出荷するなど海ごみがリサイクルされて生まれ変わっていく体制が整備されています。
本町でも海ごみが貴重な資源となるよう、アップサイクルの取り組みを検討していきたいと考えています。



かわばた ゆうと
川端 勇翔議員

働き手不足 解消に尽力を！

母が昨年、職場で人手不足のため勤務時間が給料の上限を超えてしまい、父の扶養から外れました。

一方、町内では高校・大学新卒の町内での求人は「地域おこし協力隊インターン生」として、

【福祉分野】…介護士、看護師、調理師

【保健分野】…管理栄養士、保健師、看護師

【教育分野】…学校給食調理師、ハウスマスター

【産業分野】…農業研修、漁業研修、おぢかIT協会職員、担い手公社職員

【役場分野】…保健師、保育教諭、役場職員がそれぞれ2週間コース2名、一カ月コース2名、

三月月コース2名の計6名ほどを募集しています。

働手不足している状況ですが、町では改善に向けてどのような取り組みを行っていますか。

産業分野である農業研修、漁業研修に関しては、町ホームページや専門の求人サイトでの募集のほか、東京や大阪での相談会などへも参加し、支援制度や研修制度、移住等についていねいに説明しながら募集を行っています。離島ということもあってなかなか応募には至りません。

役場職員については、年に2回の採用試験のほか、特に不足している保健師や看護師、保育教諭等の専門職人材は通年募集としています。

また受験者が応募しやすいようにいろいろ工夫し、求人ページには実際に勤務している職員のブログ記事や動画をアップして仕事の内容や雰囲気や伝わるような工夫もしています。

しかし町内全体的に働き手不足であり、移住者を呼び込む必要があるため、移住相談で来島する際の旅費の補助、引っ越し費用の補助なども行っています。



あ のん
小崎 愛音議員

若者を減らさず 増やす取組みを！

今、小値賀町では20〜30代の若い人たちが特に少ないです。若者が減少しないため、また増やすための対策をしているのか気になります。

若者減少対策として、今どのような取り組みを行っていますか。

本町には、進学や就職で小値賀を離れた若者が帰ってきてやすいように、経済的負担を軽減する多くの補助制度があります。

例えば奨学金を借りた場合の返済額の一部を補助する制度や、町内で後継者として就労するために必要な資格を取得しようとする人に、その費用の一部を補助する制度です。

また、漁業や農業の技術を先輩から教わりながら、生活費が支給される研修制度もあります。



かんざき まみ
神崎 実議員

介護従事者の 人材確保に協力を！

母と祖母が介護の仕事をしていますが、人手が足りないといつも言っています。職員を増やすためにどのような取り組みをしていますか。

本町に就職する介護人材に対し、常勤や一年以上継続して勤務することを条件として、介護福祉士等の資格を持っていれば20万円、無資格でも5万円を支給しており、今年度は4名が養寿園に就職しています。さらに今年度から支援対象範囲を保健師や看護師、保育士にも広げました。

また、介護資格等を取得して本町で就労したいと考えている40歳以下の人に対する支援制度もあります。介護職の高齢化が進むと今以上に人材不足が考えられ、さらなる対策も必要であると考えています。

養寿園では、外国人の介護士を採用しているのに対して、他の介護施設が外国からの介護士を採用していないのはなぜですか。

養寿園では、県が実施している外国人人材のマッチング事業に申し込み、2名の外国人人材を介護士として雇用しています。

養寿園は外国人人材を雇用するために必要な従業員用の宿舎を令和5年度に建設しましたが、本町はそれに対して補助金を交付するなどの支援をしています。

マッチング事業への参加は、社会福祉協議会などの事業所でも可能で、これからも各事業所の努力のもと、介護人材の確保が行えるよう支援していきたいと考えています。

また介護職員の身体的負担の軽減や、業務の効率化などの課題解決を図るため、ICT機器等の導入における情報提供などの支援も行っていきたいと考えています。

支援しても収入が低いと続かないです。収入増加と精神面のサポートも必要ではないでしょうか。

収入については職場の問題で町から働きかけはできませんが、現在、国で所得が増えるような方法も検討しているようです。



でぐち ひな
出口 陽菜議員

船の運賃が高い！ 何とかならないか！

私の兄はお盆やお正月に帰省をしますが、船の運賃がとても高いことに驚いています。観光客や帰省客は、この運賃では小値賀には簡単には来ることができません。

運賃を抑えたいために、どのような取り組みをしていますか。また町外の人に対する補助のようなものを行う予定はありますか。

特定有人国境離島に指定されている本町では、町民の負担を軽くするため平成29年度より運賃の割引を実施しており、その分を国・県・町で負担していますが、その額は町が年間約1500万円、国も約5000万円と高額で、観光客や帰省客まで対象を広げていくことは難しいのが現状です。

現在、小値賀〜佐世保間のフェリーの片道運賃は2590円ですが、そのうち燃油サーチャージとして1210円が上乗せされており、この上乗せ分が何とかならないか国や航路事業者にお願いしています。

運賃が上がったのはコロナ禍で観光客が減ったからではないですか。観光客は戻っているのに高いままなのはおかしいと感じます。

観光客数はなく燃油代が高くなったためです。

観光客が小値賀をSNSなどで宣伝、レビューをすると船の運賃や宿泊の割引がきくような取り組みをしていますか。

その取り組みはありません。観光客に本町をPRしてもらうことはとても重要で、宣伝効果も大きいと思いますが、割引という報酬目的となると、現実とかけ離れた評価になってしまう可能性もあり、慎重な検討が必要です。



はまだまお
濱田 舞桜議員

規格外野菜 消費のための取組みを！

大島の私の家の周りは農家が多く、父も農家をしています。主に豆とブロッコリーを作っていますが、出荷の規定が厳しいため、大島だけでも豆は約150kg、ブロッコリーは約400kgの規定外野菜が出ています。

出荷までに機械の燃料、農機具、肥料や消毒、梱包の材料等々たくさんありますが、お金も時間もかかっています。規定外野菜が多く利益と出費の割が合わず、農業を続けるのが厳しいという声があります。

加工した冷凍野菜であれば、食感が良くおいしく食べることができ長期保存も可能になります。小値賀町農産物加工場を利用して加工販売してはどうでしょうか。

令和元年度から3年間、未利用・低利用品目を活用した加工品の商品化に取り組みました。多くの作物について商品化のアイデアはあるものの、設備投資が必要になり、また商品を一定数量確保できず、一商品を開発するにどまりました。

さらに人材確保の面からも農産物加工場の利用は難しいです。

小値賀産の野菜を町が買い取り、町の店で売れば食品ロス削減や農家の収入にもつながるのではないのでしょうか。

町が直接的に野菜の販売に関わることはありませんが、多くの野菜が町外へ出荷されており、生産に必要な燃料や輸送コストの一部を補助しています。

町内では「あい菜市」をはじめ各店舗でその時季の野菜が販売されています。

町は地産地消を推進しており、廃棄するのではなく安く販売し、少しでも農家の収入に反映することが重要だと考えています。

地産地消のために、町は農協や農家と連携していますか。

今はできていませんが、今後協議していきたいと思っています。



やまだ あい
山田 愛議員

本町ならではの 特産品で知名度アップを！

島外に出ると「小値賀から来た」と話しても「小値賀ってどこ？」と言われることが多いです。

知名度が高くなれば観光客が増えたり移住者が増えたりすると思います。そうした取り組みはありますか。

関東、関西、全国と、お金をかけずに町をアピールできるマスメディアからの取材依頼をできるだけ受けています。

知名度の調査はしていますか。

調査の方法はわかりませんが、できるのならやりたいと思います。

私は部活でバドミントンをしていましたが、初めは「こねが、こじか？」とか言われたものの、チームが強くなると「おぢか」と言われるようになります。

なりました。

このように何か一つでも小値賀を象徴するものを作れば知名度が上がるのではでしょうか。

全国的に利用者が多い「ふるさと納税」で、本町の商品を多数出品して知名度と商品のアピールを行っていきます。

また、今リニューアル中の町公式ホームページでも、情報発信の充実を図っていきます。

また、町民の皆さんが「住んでいてよかった」と思える町になるよう、地域の魅力をアピールしてブランド化する「シティプロモーション」にも力を入れていきます。

本町の特産品は新鮮さを売りにしているものが多いですが、その時期にしか手に入りません。

年間を通して手に入る「小値賀ならではの」特産品を作って知名度を上げてはどうでしょうか。

旬の食材、その時期でしか手に入らない特産品が多いですが、それを目的にその時期に本町を訪れることも考えられます。

今後、「小値賀と言ったらこれ！」と言うような新商品の開発や、「メロン」「小値賀牛」のブランド化に取り組みむことも計画しています。



みやざき よしやす
宮崎 良保議長

謹んで新春のお喜びを申し上げます。

輝かしい新春を迎え、町民の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

昨年も、引き続き世界情勢の不安や能登地方での地震、台風による水害の発生、円安による物価高騰など、様々な影響が町民皆様の生活に影を落とした一年でありました。

今年以後の小値賀町議会の重要事項としましては、令和九年三月末に十年の立法期限が到来する「有人国境離島地域の保全及び特定有人国境離島地域に係る地域社会の維持に関する特別措置法」、いわゆる有人国境離島法の改正と延長の実現でありまして、そのために議会の能力をフル活用し、あらゆる方面からこの法律の必要性を訴え、進歩した新たな有人国境離島法の制定を実現するべく努力してまいります。

小値賀町が持つ潜在的な魅力、恵まれた自然環境や歴史文化を大切とした社会環境の整備を図りながら、町民が安心して暮らしていける為に、「美しい町」「生き生きとした産業の町」「ふれあいとやすらぎの町」を目指して、行政と議会並びに町民が一体となった町作りに取り組んでまいりますので、昨年と同様、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、町民皆様のご健勝ご多幸を衷心よりお祈り申し上げます。

小値賀町議会 議長 宮崎良保



令和七年元日 小値賀港にて撮影

令和七年元日



議員の報酬及び費用弁償等に関する条例

注目!

**十分に時間をかけ
慎重に審議を重ねました**

本条例改正案は去る3月8日の小値賀町議会定例3月会議で上程されましたが、各議員様々な意見があったことから採決は見送り、議員報酬特別委員会に付託し討論を重ねました。

これまでに委員会は5回開催し、内4回を委員間討議に費やしました。

その結果、11月6日の本議会において本条例改正案を否決し、委員会発委で新たな案（本ページ左下図参照）を提出し、審議することとなりました。

小辻委員長の委員長報告の要約は以下の通りです。



こっじりゅうじろう
小辻 隆治郎委員長



※ここから
動画が見られます!

議員報酬審査特別委員会において、委員からは次のような意見が出されました。

- ①生活を営むことができる最低限の補償額にしない。議員のなり手が不足すれば、議会が機能低下・機能不全に陥り、自治体の存続が危うくなる。
- ②物価は上がる、給料は上がらない、税負担が増える三重苦の中で、さらに可処分所得が減少していけば、ますます景気が後退してしまう。議員報酬の増額分を町内で消費することで、町内の経済を活性化すべき。
- ③物価上昇率3%は引き上げの根拠にならない。町の予算決算、事業の振興に大きく関与する議員の重責を思えば、現在の報酬は不十分である。

- ④将来の小値賀町存続に不安があるので報酬を上げるには抵抗がある。
- ⑤特別職報酬等審議会委員に事前に資料を提供し、検討する時間を十分に与えたのか。また委員構成に疑問がある。
- ⑥平成31年に議会が作成した報告書により、議会として根拠ある金額を提示しているが、執行部は特別職報酬等審議会委員を説得する熱意がなかったのではないかと。
- ⑦九州内や長崎県内の町村議員報酬の平均などをもとに、オートマチックに決めてはどうか。

そんな中、本委員会委員の多数（7人中4人）が賛同を示したのは、平成31年に議会がまとめた報告書です。

報酬を引き上げる根拠として、同じ選挙区で選出された首長の給与と議員の報酬は同じ土俵の上で論じられるべきとの考え方で、首長の給与の元になる実働日数に対して、議員の議員活動としての割合で報酬を算出する、原価方式で積算をします。

町民から議会活動が見えないという意見がありますが、

発表!

議長：25.5万円 → 27.5万円に
副議長：19.8万円 → 23.0万円に
委員長：18.4万円 → 21.9万円に
議員：18.0万円 → 21.5万円に

附 則

「令和6年4月1日から適用」

定例 12月会議

令和6年12月5日～9日まで



12月会議の様子、小学6年生が傍聴に訪れました。

**旧野首教会修繕工事費約3千万円増額
一般会計は約39億3千万円に**

**旧野首教会修繕工事
天井・柱飾り等の補修追加**

間解体撤去する天井・柱・柱飾りなどの処分はどのようにする予定か。

答 キーストーン等とあわせてターミナルや野崎のビジターセンターなどで展示・保存する予定だ。

問 今後、リブ・ヴォールト天井など左官工事が本格化するが、全国で減少している職人にとって技術の研鑽につながる貴重な工事。職人向けの視察ツアーなど商品化する考えはないか。

答 考えていないが、建築設計事務所から現場視察の問い合わせがあった。

**教育長が再任
任期は令和9年末**

令和6月2月31日をもって任期を満了する中村慶幸教育長の再任が、賛成全員で可決されました。任期は3年間です。

**一般会計補正予算
主なやりとり**

問 旧診療所を民間事業者に貸し出すことについて、現時点で協定書や覚書などは結んでいるか。

答 特に覚書は無いが、業者とのやりとりは全て文書で行っている。改修の許可が下りた時点で工事契約を結ぶ予定だ。

問 空家等対策協議会委員謝礼金として15万円出ているが、これは国が進めている空家対策計画に関するものか。また、昨年度実施した空き家実態調査の結果はどうだったか。

答 そのとおり。今月中に第一回目を開催し、年度末までに計画の策定を完了させる予定。

調査結果については、空き家は約450軒あり、アンケートの結果、そのうち約100軒は空き家非該当だった。

我々は議員活動を理解してもらうため「能動的に行動する議会」、「住民とともに歩む議会」、「政策を提案する議会」の三つの標語のもとに活性化に努めてきました。

また、通年議会、委員会活動、出前議会、議会と語ろう会、あおぞら座談会、議会広報の充実、議会モニターの設置、中学生の模擬議会など、以前にも増して議員活動が活発化していることは周知の事実です。（小辻委員長）

28年ぶり!!! 議員報酬増! 賛成5 反対2 可決!!!



※ここから
動画が見られます!

討論!

反対 江川 春朝議員

議員として未熟すぎて原案の3%であっても賛成できない。
議員報酬審査特別委員会でもたくさん
の根拠があった資料を何度も目を通したが、虚しくなった。
家族や子供を養う人が退職金もなく、
四年に一度失業する議員報酬を
当てにしている。
報酬を上げることより、どんな職
業の方であっても議員になりやすい
議会の仕組みを作る方が重要だ。
審議会の意見は町三役の増額より
後ろ向きだったと聞いている。
町三役の給与の増額は提案通り
3%の増額で、自分たちの報酬はそ
れ以上に上げるのは賛成できない。

賛成 今田 光弘議員

本発委の議員報酬の考え方は、町
長と議員の働く日数の比率によって
報酬を決めるものだ。
全国の町村の議長会と都道府県会
長会は首長給料の47%を目指すこと
を表明しており、本町はかなり低い
状態だ。

賛成 森岡 正雄議員

特別職報酬等審議会において
21万5千円案は賛成少数だったの
で、その意思を尊重し、議員報酬審
査特別委員会では21万5千円案に反
対した(賛成4・反対3)。
しかしながら、本会議では委員会
の決定を尊重し、反対ではあるもの
の、賛成の立場を示すこととする。
理由として、我が国は民主主義国
家であり、多数決の結果は、みんな
の総意となる。
議員は民主主義の選挙において選
ばれた立場であり、その議員が民主
主義を否定することは許されない。
よって、審議会の3%案を大きく
上回る案に賛成することは大変心苦
しいが、賛成の立場を表明する。

賛成 横山 弘藏議員

平成の大合併問題以降、議員年金
の廃止、退職金等の仕組みもない中、
平成12年に地方分権一括法が成立し
議会の役割は大きく変わった。
平成7年は議員定数14人だった
が、平成27年から8人となり議員の
仕事は増えている。
20年余り議員報酬は据え置かれて
おり、議員の成り手不足解消、多様

また町長・副町長には非常に多額
の退職金があるものの、議員には何
の保証もない。
また政策活動費もなく、議員活動
にかかる費用は報酬から出している
のが現状だ。

反対 立石 光助議員

本発委の議員報酬に関する報告書
の中身も十分理解でき、議員報酬を
上げることに対する効果、得られる
効果、議員不足解消なども理解でき
る。

しかしながら、特別職報酬等審議
会に学識者がいないこと、会議が一
回だけで事前に審議委員に十分な情
報提供がなかったことに非常に疑問
を感じる。
また、私達議員の報酬を上げるこ
とを、私達自身が発議することにも
抵抗がある。
議員の報酬は第三者からの評価に
よって決められるものと考え、この
発委に反対する。

賛成 橋本 武士議員

議員報酬は商売でいうところの、
純利ではなく粗利にあたる。
自発的に視察や研修(出張手当は
ない)に行くことがあれば、報酬か
ら交通費、食費、宿泊費が支出され、
それは経費となる。
粗利から経費を抜いた純利が議員
の生活費になるので、21万5千円も
正直安すぎると感じる。
様々な意見がある中、勇気を持っ
て手を上げる必要がある、それを背
負うプレッシャーを感じて、日々議
員活動したい。

個人的には類似自治体と比較、平
均値で決める方が良いと思うが、本
発委の根拠に共感し、賛成する。
議論では議員から非常に多くの意
見が出されました。スペースの都合
上、その全てを掲載できませんので、
ぜひ写真左下のQRコードから動画
をご覧ください。

海洋ごみ

産業建設常任委員会 長崎県 対馬市



再資源化されたプラスチックごみのサンプル



海洋ごみ対策で日本を牽引する対馬 CAPPA さん

海洋ごみが日本一漂着する対馬市。年間に漂着するごみの量は2〜3万立方メートルと言われている。ちなみに当町の家庭ごみの排出量は約1000立方メートルで換算すると約3300立方メートルで、当町の家庭ごみの約10倍ものごみが漂着している。

その対馬市では、海洋ごみ対策の取り組みが非常に進んでおり、それを牽引しているのは民間団体「対馬CAPPA」さん。

CAPPAさんは、海洋ごみ問題を軸に縦割りの行政に横串を刺す役割として活動している。

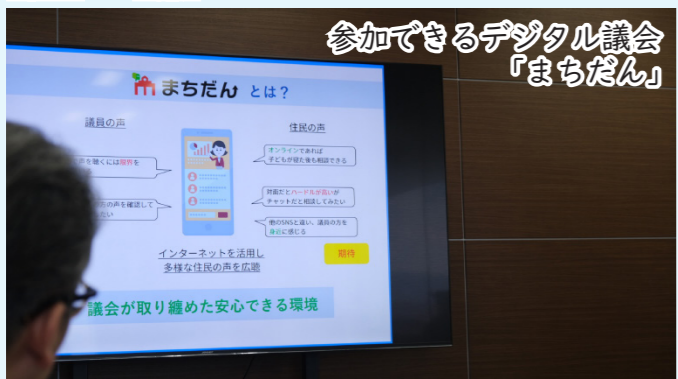
全国の企業や学校などの視察を受け入れる環境スタディツアー、ごみの再資源化、海洋ごみアートの創出と販売による資金調達など、多岐にわたる。

いつの時代も世の中を動かすのは、人の熱い思いだと感じ、本町も頑張らなければと大変刺激を受けた。

海洋ごみ漂着 日本一

デジタル 応報

デジタル化推進特別委員会 鹿児島県 十島村 福岡県 福岡市



参加できるデジタル議会『まちだん』



トカラ列島・十島村役場

宮崎市議会を中心に活用が全国的に拡がりつつある「まちだん」の開催会社を視察。いくつかのシステムでは、特にその効果が高いのとは感じた。

① 一般質問シート動画
② 一般質問の内容をWEB版の記事としてまとめ、そのトピックの応援者やその後の進捗が見える化できるシステム
③ アンケート機能

主権者教育にも繋がる

当町よりも地理的条件の厳しい十島村では、デジタル技術の活用が進んでいる。今回は島には渡らず、鹿児島市内にあるサテライト役場を視察。

タブレットの導入はもちろん、デジタル専門の職員を採用したデジタル政策室が前村長の肝煎りで設置されており、村としての本気度がひしひしと伝わった。

厳しい条件だからこそ

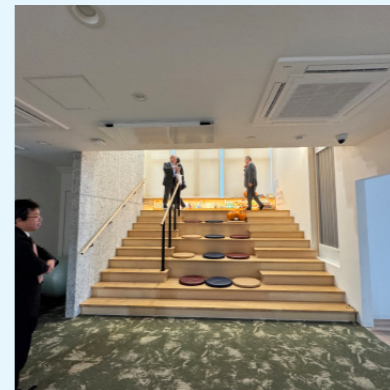
視察報告!

沢山のお土産を持ち帰りました!

留学制度 総務文教厚生常任委員会 北海道 福島町



開放感と清潔感あふれる食堂



広々とした階段スペース



留学生寮の外観はシンプルモダン

人口規模は小値賀より若干多いが、財政規模は同程度の福島町では高校留学に熱い視線が集まっている。公立高校（町内唯一）の新入生が10人を切り廃校の危機に直面するも、高校の留学制度を導入、寮を新築した結果、29名の新入生が入学し、廃校の危機を脱した。

カギは勢い・熱意・寮

視察を通して、走りながら解決していく強い姿勢と勢いを痛烈に感じた。

魅力的な寮の存在も重要だ。留学希望者にとっては高校より寮の存在が圧倒的に大きい。

さらに、本気で生徒に来てほしいという姿を教育長が自ら見せており、強い覚悟とリーダーシップを感じた。

加えて、近隣の学校には教育長が直接訪問、新聞の有料広告に8回掲載するなど、積極的な広報もぬかれない。

高校の新入生が倍増!



福島町は北海道と青森を結ぶ玄関口

留学生の受け入れ先として魅力的な寮は必要だと感じた。

財源が厳しい中でどこまでできるか、町トップの姿勢が問われる。腹をくくる時がすでに来ているのではないかと。

町執行部、教職員、生徒、町民の皆さんが力を合わせて危機感を共有することが原点で、本委員会としても全力で取り組んでいきたい。

腹をくくる時がきた

- 各委員会メンバー
- 産業建設常任委員会
- 委員長 小辻隆治郎
 - 委員 江川春朝
 - 委員 立石光助
 - 副委員長 橋本武士
 - 委員 横山弘藏
- デジタル化推進特別委員会
- 委員長 今田光弘
 - 副委員長 立石光助
 - 委員 江川春朝
 - 委員 橋本武士
 - 委員 森岡正雄

議会モニターメンバー決定！ そして開催へ！！



※写真は議会モニター会議の様子です

議会モニターって 何をやるの？

議会モニターとは、満16歳以上の町民10名以内で構成され、議会に対して様々な意見や助言を提言します。任期は2年です。

町議会モニターの職務は、①本会議及び常任委員会を積極的に傍聴し、議会運営の見聞を広めるとともに、議会運営に関する意見を口頭又は文書により議長に提出すること。

- ②議会日より、議会ホームページ及び議会フェイスブックに関する意見を口頭及び文書により、議長に提出する。
 - ③小値賀町議会議員と年一回以上、意見交換を行うこと。
 - ④議会が行うアンケート調査に回答すること。
 - ⑤その他議長が必要と求めたこと。となっております。
- 今回9名の皆さんに議会モニターに就任していただきました！
- 皆さんから頂いた意見を議会運営、議員活動に活かしていきますので、忌憚のないご意見をお待ちしております！



モニターの皆さん、どうぞよろしくお祈りします！

10月に議場にて 委嘱状交付！

10月18日、議場にて議長からモニターさんに委嘱状の交付がありました。

モニターさんには執行部席に着席していただき、順に委嘱状を受け取っていただきました。

その後、別室にて意見交換会があり、定例12月会議後にモニター会議を開催することを決定しました。



委嘱状交付の様子

- 12月14日、議会モニター会議が行われました。モニターの皆さんから次のような意見をいただきました。
- ①一般質問に興味があるので、夜間会議は継続して欲しい。
 - ②新年度から診療所医師2名体制は間違いはないか。
 - ③YouTubeの再生回数を増やす努力を。また動画にテロップが欲しい。
 - ④議会だよりが素晴らしい。工事の写真は新旧比較の写真にしてはどうか。
 - ⑤町民の島外に住む親族も航路運賃の割引対象になるといい。
 - ⑥準島民カードの受け取り資格要件を軽減すべきではないか。要介護者だけでなく、障者にも広げるべき。
- たくさんのご意見ありがとうございました！

約120年前の天井を解体！

旧野首教会修繕工事

請負：(株)友建設(井手建設)
金額：2億4551万円
工期：令和7年11月完工予定



美しいアーチ状のリブ・ヴォールト天井の一部が解体された屋内（令和6年1月時点）

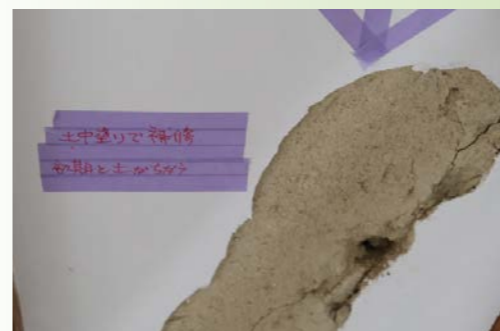
想定外工事が発生 なんとか順調に進捗

令和5年11月1日から始まった、旧野首教会の修繕工事も約1年が経過しました。外壁の工事は概ね完了し、現在屋根替えが行われています。修繕工事以前から、危険のため立ち入りが制限されるほど劣化が著しかったリブ・ヴォールト天井（こうもり天井）も、一旦解体され、いよいよ復旧工事が始まります。天井解体によって想定外の損傷箇所が多数見つかり、約3千万円の増額補正となりましたが、工期は変わらず今年の11月完工予定です。

レンガの活用 アイデア募集中！

交換したレンガ（約2千個！）の活用アイデアを募集中です。過酷な環境の中で生き抜いた野崎島の潜伏キリシタンの方々の祈りと記憶を、皆さんのアイデアでレンガを通して、未来へつむぎ、つないでいきましょう！

（問合せ 教育委員会
0959-56-3838）



職人が丁寧に調査し修繕方針を決定



天井の裏側は竹小舞土壁が確認できる



壁側柱の多くは腐食している

暮らしを守り、観光客・交流人口増に尽力を！

町民も！観光客も！ みんなが求める小値賀町に！

本町は、今の日本ではまず考えられない、まさに奇跡としか言いようのない恵まれた離島で、都会や他の町にはない素敵なところがたくさんある。

ここでの暮らしを町が守り、さらに未来につなげていく努力をすることで、ぼくたちも安心して胸を張ってこの町に住み続けることができ、それが伝われば観光客も増え、移住者も関係人口も増える。

ていくと思う。

そんな中で、初めは何となく違和感がありつつも普段の暮らしの中で慣れてしまい、今は見えなくなっていて、でももしかしたら大きな危険が隠れているようなことについて、また観光客にも喜んでいただけるような取り組みなど7点について、町長の考えを伺う。

歩行者、子ども達の安全を第一に！

闊狭いながらも交通量の多い道路の路側帯を青や緑に着色して、歩行者と車の分離を明確にすることはどうか。

答 検討はしてきたが、景観的に道路を着色することは難しい。交通マナーを守っていたり、消えかかっているような区画線は引き直していきたい。

ポットホールの看板は悪目立ちし過ぎる！

闊ポットホールの駐車場から下っていくと、大きな説明看板があり、ダイナミックな景観が妨げられている。

答 駐車場の周辺などに小さな看板を設置してはどうか。

答 撤去してほしいという話は初めて聞いた。検討したい。

多くの人が利用するターミナルを安全に！

闊港の駐車場からターミナルに向かう歩行者の多くは、雨除けの延長線上を直線的に歩いているが、ターミナルの前は道路との段差があって横断歩道もないので改善してほしい。

答 歩行者の安全を確保するため、バリアフリー化と横断歩道を設置する方向で関係機関との協議を進めたい。

観光客に喜んでもらえる小値賀を目指す！

闊高速船ターミナル周辺は何

となく裏口、勝手口のように感じる。

小値賀にようこそという何らかの歓迎の意思表示が必要ではないか。

答 雨除け通路の海側には子どもたちが描いた絵のプリントがあるもの、それ以外はない。雰囲気を変えるようなことを検討していきたい。

闊高速船利用者の送迎車両の駐車スペースが狭く、送迎用の車が押し寄せ、カオス状態になっている。

現在、ターミナルの南東側・海側にはターミナル関係者用の駐車スペースとさらに空いているスペースもあり、これらをよく利用して送迎専用の駐車場を広く確保してほしいか。

答 漁港施設でもあるために駐車場にはできないが、一時的に利用は可能と考えられるので、今後検討していきたい。

闊小値賀交通のバスの利用方法や運賃などを周知し、より多くの観光客にバスの利用を勧めてはどうか。バスに乗る

こと自体が小値賀での観光スポットになる可能性もあるように思う。

答 実際にバスに乗っている動画をユーチューバーにアップしていただき、島外の人にも発信していきたい。

闊野崎港から通称サバンナを通過して北崎展望所に向かう道は、多くの人が比較的安全に歩けるうえに野崎島らしさを感じることができるといい。

トだが、その北崎展望所の四阿（あずまや）の屋根が一年の台風で飛ばされ、そのまま放置されている。

国立公園の特別地域で制限もあるが、天気の急変時にも必要な施設と考え、景観を考慮したうえでこの四阿を復活していただきたい。

答 県としては風が強く当たる場所ということもあってベンチだけの整備を考えているよ

うだが、町としては、夏の炎天下や突然の雨天時の避難場所として、飛ばされないような頑丈な屋根をつけてほしいと要望しており、県の対応待ちとなっている。

【質問を終えて】

高齢者ドライバーでも歩行者と車の分離がわかりやすいように、笛吹本通りや笛吹在の通学路の路側帯を青や緑に着色することを提案しました。

狭いのにスピードを出して走る車も見受けられ、大きな事故が起きる前に少しでも抑止力になればと思うのですが、景観的に着色することは無理との答弁でした。

公共の福祉と景観とどちらが優先されるのか難しい問題ではありますが、ぼくは公共の福祉を優先すべきだと思います。

模擬公聴会

私にも言わせて！

●ターミナル前は切り下げて横断歩道が必要。また、雨除けを延長してほしい。

●屋根はあれだけ飛ばされるほど風が強いというアピール材料にもなっている。



※ここから動画が見られます！

いまだ みつひろ
今田 光弘議員

海の環境と観光政策について

海は本町の最大の武器だ！ 景観を保ち、観光に活かせ！

見渡す限りごみの海。その大量の海ごみに対し、まっすぐ向き合う町民の方々がいる。それでも一日で元の状態に戻るが、少なくとも夏だけでも維持し、観光客帰省客には、綺麗な海を見てほしい。海の環境と観光の繋がりは大変深いことを踏まえ、町長に伺う。

釣り客視点の アプローチを！

① 自然豊かな島。
② 海にごみがない島。
③ きれいな海を大切にしている。
この3つが多いとある。子ども達は、海を守って欲しいと願っている、私達大人が応え、叶えよう。
答 行政だけでは限界もあるが、町民みんなが海ごみを拾う、そのようなものを醸成していきたい。

閩海といえは海水浴と釣り。釣り客視点のアプローチが必要ではないか。
答 釣り客に、よいイメージでない町民もいるが、できることから取り組む。
海に囲まれた本町は、釣り客は切り離せない存在であり、町民と釣り客、双方に良い方向にもっていく。(町長)

閩他町の観光大使を務めるユーチューバーさんが本町にいるのに、全くアプローチしないのは何故か。町民の利益に繋がるチャンスを無駄にしている。
他町では釣り大会などを、発信力のある方と一緒に盛り

上げ、全国より集客し、地元にお金がおちる仕組みを作っている。
本町の様々なイベントも、町内完結でなく、釣りや観光と結びつけ、発信力を持つ方なども巻き込み、経済効果を求めるべきだ。

答 今後は必要だ。釣りツーリズム、滞在型観光など観光全体で考えていく。

海ごみ問題で 本町の魅力を高める！

閩海ごみ拾いから処分まで妥協せず取り組み、その状況を観光資源とする考え方で対策を進めてはどうか。
答 本町事業やボランティアなどで海ごみ回収しているが、長期的には出来ない。町民の意識を高める必要がある。

来年、主要な浜に海ごみ回収箱を設置する。

閩総合計画の中に、小中高生へ「どんな町になって欲しいか」との問に対し、子ども達

大人のかっこいい 姿を見せよう！

閩子ども達の海への思いを叶えようとする、大人の行動が、郷土愛を膨らませる。町の魅力アップにもなり、その発信の仕方で、観光資源にもなると思う。
答 発信方法などにも注力し、情報戦略の協議をしていく。

閩対馬市は、海ごみを価値ある資源に変えるため、分別し、できる限り再資源化している。
この姿勢が評価され、全国より研修や視察などで人を引

き付けている。

本町は、人とお金は少ないが、海ごみはたっぷりある。再資源化に向け裁断機の導入を検討してはどうか。
答 環境対策も改善したいと思う、導入に向け、議員含め協議していく。

閩再資源化が進めば、地域課題の解決と、スタディツアーなど観光の幅も広がり、町民の意識も高まり一石二鳥以上だ。
私達の海への思いを、次世代に繋ぐためにも、海の環境を町の主要な柱という認識で取り組むべきだ。
答 痛烈に実感している。ゴミの再資源化など、必要なものには予算を付ける。綺麗な海にしたいと思う。

模擬公聴会 私にも言わせて！

● 役場職員、議員も、海ごみ拾いにもっと参加するべき。
● 粉碎機など、海ごみの再資源化が整うことに期待する。

【質問を終えて】

どこの国のごみとか、漁師のごみとか、自分は捨てていないとか、そんなの関係ない。海のごみで一番数が多いのは、家庭から出るごみで、みんなに責任があります。

私達が出すプラごみは、自然界では分解されず、単なるビニールが多くの生き物を窒息死させ、廃棄魚網が多くの魚の命を絡め取っています。漂着しているごみは唯一の拾うチャンスです！今、この時間も、「魚たちは文句も言わずに死んでいます。」

※ここから動画が見られます！



えがわ はるとも
江川 春朝議員

小値賀町役場職員の休日について

休日出勤が多過ぎる！ 職員の休み方改革を！

行事が多過ぎる！

縮少・統合の努力を！

問 行事の縮少化、または統合の考えはないか。
答 必要性や効果が低いものは終了し、類似のものについては統合していくなどし、見直していく。

問 例えば、「こどもでじまはく」は一番近いところに「ふるさと産業まつり」がある。この二つが統合すれば、親子は遊ぶ合間に食事ができ、スタッフもその場で食事できる。そうすれば出店しているお店も売り上げ増加となり、来場者も増加し一石二鳥だ。
答 検討はしたが、残念ながら受託事業者との日程調整ができなかった。

問 休日出勤した場合、平日に代休が取得できるが、休むと仕事が溜まってしまい代休取得を躊躇う職員が多いと聞く。
答 取得できるよう勤めているが、取得できない場合は時間外という形になってしまう。

本町では一年を通して、町主催・各種団体主催の行事が頻繁にあるが、その都度スタッフとして駆り出される職員は貴重な休日を奪われている。

また、子供がいる職員はPTA役員、学級役員、行事への参加及び手伝いなどがある上、消防団員であれば年に数回の訓練がある。
このような状況では職員が心身共に疲弊してしまい、退

職に繋がったり、貴重な人材が島外へ流出しないか懸念がある。

公務員であるから、町や町民に対し奉仕の精神を持つことは大変素晴らしいことだが、あまりに多過ぎるよう思う。
いい仕事をするには、いい休暇が必要であり、それが仕事へのモチベーションとなり、また仕事の質の向上となると考え、町長に問う。

ボランティア扱いで

給与が発生しない！

問 ボランティア扱いで、給与が発生しないイベントがあることをどう考えているか。
答 どのような活動も、参加者のモチベーションを高めることが活動継続に資するという点で、給与等の対価を得られることは重要な要因だ。
今後も町職員が町民として行事の企画や運営に携わることは一定数あるだろう。

規則改正等により職員の兼業や一定の副業を可能とすることで、対価が受けられる体制を検討する。

働き方改革よりも

休み方改革を！

問 今後改善に向けて取り組むことはあるか。

答 各質問でお答えした点を取り組むことで、職員の仕事と私生活の双方が充実し、バランスの取れた環境を目指していく。

第5次小値賀町総合計画にも記載のとおり、町民一人ひとりがまちに愛着を持ち、町のために取り組む姿を目指し、まちづくりを進めていく。

また、結果的に町職員負担の他者への転嫁となつては根本的な問題解決とはならないので、町職員を含む全町民がお互いの置かれた環境や立場に配慮した、持続可能なまちづくり環境の構築を目指す中で、町職員の休日について検討を進めて行きたい。

問 私世代や、もう少し上の世代は一日中働き詰めで、残業や休日出勤は当たり前だったが、現在の若手職員、またこれから役場に就職する若い世代にその感覚は全くない。
職員の皆さんには、良いモチベーションを持って、心身共に良い状態でお仕事に励んでいただけるよう、是非負担を減らす取り組みをして欲しい。

答 職員の負担となっている行事の縮少、統合、またできるだけ土日に休んでもらえるようにしていきたい。

【質問を終えて】

事前に町職員の休日出勤や、イベントなどのボランティア参加の資料提出を求めましたが、数字にするとあまりの休日出勤の多さに唖然としました。

こんなにも、本町は職員の皆さんに支えられているのかと心から感謝の気持ちで一杯であると同時に、大変申し訳ない気持ちにもなったのです。

イベントは大変楽しいですが、その裏で多くの職員の休日が犠牲になっていることを忘れてはなりません。

多くの職員が 休日を奪われている！

問 こうした現状をどのように考えているか。

答 活動時間が過大であったり、特に各職員の苦手な分野を押しつけられている状況であれば、心の充足どころかストレス以外の何物でもなく、改めるべきと考えている。



もりおか せいゆう
森岡 正雄議員

米不足に対する今後の政策について

困った！お米がない！ 玄米の保冷库の設置を！

リスクヘッジの 取り組みを！

●未施行ではあるが「食料供給困難事態対策法（令和6年6月21日号外法律第61号）」について、どのような認識か。
●法制定の背景としては、食糧供給が不足する兆候の段階から政府一体となって必要な対策を講ずることによって未然に防止し、不足時の供給確保対策として出荷・販売の調整、輸入の促進、生産・製造の促進等の要請指示ができることとある。
また、干ばつ・高温など異常気象の頻発化や政治情勢に起因した地政学的リスクなど食料安全保障に関するリスクの高まりがあり、日本も大きな影響を受けるおそれがあると認識している。

今年の夏は全国で「米不足」が起こり、本町においても10月の時点で町内の商店から米が無くなるという状況が起こっていた。
店主に尋ねても仕入れ先の在庫が無いからどうしようもない、という返答であった。
今後、このような事態が発生した際に、住民生活を守るために町として出来る対策があるのではないかと考え、町長に問う。

危機に備えて 玄米の保冷库を！

●本町における食料安定供給のために、玄米の保冷库を町内に設置すべきではないか。
●世界的に食料供給の不安定化が叫ばれる中、小値賀町としても住民が安心して暮らせるまちづくりの観点から関係機関とよく協議し、必要な施策を示していきたい。

小値賀町民に 小値賀米を！

●総生産量においては、生産者が消費する分と個人に販売する分等が加えられるが、備蓄を必要とする量は生産者自身と生産者から直接購入している方々の分は予め生産者側で保有され、出荷されていないのだから、この量を想定した消費量106tから差し引かなければならないので、アンケート等を実施して備蓄に必要な量を把握するべきではないか。
毎年これだけの新米がありながら町民が町外から入って

備えあれば憂いなし！ 本町にも備蓄米を！

●本町に「備蓄米」はあるのか伺う。
●本町にはない。
●備蓄米がある場合、その量と保存方法はどのようなものか。
●水やお湯を入れるだけで簡単に食べられるアルファ米を1200食分貯蔵している。

くる流通コストの掛かったコメを購入して食べている現状はやはり納得できない。
本町において農業、漁業は福祉、介護、教育等の従事者にならぶエッセンシャルワーカーであると考え。
生産者においても本町の食糧を担っているという気概をあらためて強くしていただくためにも、前向きな検討をお願いしたい。
●諸々含めて関係機関と協議していく。



小値賀米で作ったおにぎり。美味！！

【 質問を終えて 】

農林水産省の調べでは、2020年と比べて2030年には92万ヘクタールの農地が耕作されなくなるという試算があります。

これは東北地方の農地面積である81万haを大きく上回る規模で、国内における耕作面積の35%にあたります。

近い将来コメ不足になるのは容易に想像できます。仮に流通したとしても価格は高騰し町民の暮らしには大きな打撃となります。先手を打った対策が望まれます。



※ここから動画が見られます！

はしもと たけし
橋本 武士議員

五島堆断層帯大地震の備えについて

備えあれば憂いなし！ 町民の命を第一に！！

能登半島地震では、犠牲者の約8割が家屋の倒壊によって命を落とした。

能登地方の住宅は、新耐震基準（1981年施行）を満たさない家屋が約5割と報告されている。

石川県で2020年から30年以内にM6.5以上の地震が発生する確率は0.1〜3%とされていたが、それに対し小値賀町西沖にある第一・五島堆断層帯によりM7

以上の地震が30年以内に発生する確率は1〜3%と高い。この痛ましい事例を鑑みれば、地震対策は町民の生命と財産を守る上で喫緊の課題と言えるだろう。

医療・福祉・教育・産業、どれも重要で優先順位をつけるのは困難だが、町民のいのちをまもる防災は最優先で取り組むべき課題と考え、町長に問う。

公共施設の耐震は大丈夫？

公共施設及び福祉施設の耐震化の状況は。

全300件の内、新耐震基準に適合した建物は231件、耐震化率77%。うち福祉関連施設は8件、耐震化率100%だ。

町主に消防団詰所だ（8分団）

を除く）。公共施設は統廃合を計画しており、来年度から精査していく。

耐震化のハードルを下げる施策を！

一般住宅に占める新耐震基準に適合した住宅の割合は。登録簿記載情報を基に算出すると、対象件数全2044件中、新耐震基準適合住宅は358件、割合は約17%だ。

耐震化が必要な建築物において耐震化工事が困難な場合の対応は。

一般住宅を例とした場合、困難な要因としてコスト面があげられるが、寝室や居間など、住宅の一部分を工事することで、低コストの耐震化が可能だ。

町としては耐震助成制度と具体的対策をセットにして啓発を行うなど、町内建築物の耐震化を推進していく。

本町の新耐震基準に適合した住宅の割合は、約17%とかなり低い。

一方で、それが本町の重要な文化的景観を守っている側面もあり難しいところだが、今後どうして行くのか住民と行政で検討する必要がある。

住宅の一部を安全避難室とする工事は、現状の耐震化の補助制度でも適用可能か。

耐震化工事の補助を受けるための手続きは。

熊本市では、工事のハードルを下げるために耐震診断を全額補助しているが、そのような考えはないか。

耐震化工事の補助率は工額の50%、上限60万円ということだが妥当か。

熊本市では補助率75%、上限100万円まで引き上げている。

これまでに本町で補助金を使った事例がなく、妥当な数字なのか判断できない。

**命を守る訓練を！
夜間訓練も実施すべき**

防災訓練の実施の状況は。

令和4年度は町民総参加型の地震・津波を想定した避難訓練、翌年は消防団を対象とした訓練を実施した。

本年は町民参加型の地震・津波を想定した避難訓練を実施予定だったが衆院選と日程が重なり中止した。

防災の研修の講師は、異口同音に「日頃の訓練が本当に重要」と言う。

災害はいつ起こるかかわからないので、昼間だけでなく夜間の訓練も必要ではないか。

今のところ夜間の訓練は考えていない。

地域防災力の強化に向けた取り組み状況は。

住民に対しては、おちか新聞での呼びかけ、地震体験、研修会等を、消防団は年に1回防災訓練を実施する。

本町は、災害に適切な対応ができる体制を整備しており、今後も精度を高めていく。

【質問を終えて】

東日本大震災発生時、支援する側となった自治体の職員、消防団員、民生委員、指定福祉避難所の職員の多くの方々が、支援の最中にお亡くなりになっています。

自らも被災しながら支援行動をとり、命を落としてしまう。美談として語られがちですが、一人でも多くの命を守ることが、早期の復旧・復興につながります。

家屋の補強と避難訓練に加えて、支援者への研修と支援をやめる勇気を持つことも大変重要です。



※ここから動画が見られます！

たていし こうすけ
立石 光助議員

突撃取材！シリーズ15

起業や事業拡大などで雇用の場を増やす取り組みをする意欲がある人に、国・県・町が補助金を出さず雇用機会拡充事業も9年目を迎えました。今回は創業2年目となる^{げいは}鯨波さんに突撃しました！



店主の濱田 澄雄さん
包丁を持つ手は実に繊細な動きをする。



奥様の純子さん（右）と娘の
あかりさん、お二人のサポートは欠かせない。

小値賀の未来を案じている 町民の士気を鼓舞したい

問 小値賀で開業する以前は、どこで腕を磨いてきたのですか？

答 九州全県、日本全国津々浦々です、韓国でも2年間修行しました。

問 お寿司から焼き鳥まで、なんでもつくれますが、他のお店との共存、お客さんのニーズに配慮し、今のメニューに なっています。

問 お店の名前の由来を教えてください。

答 私ももう若くはないので、自分と小値賀の未来を鼓舞するために「土気の鼓舞、戦闘開始の合図のために皆で発した声」という意味を持つ【鯨波】と名付けました。

問 お店で最も大切にしていることは何ですか。

答 できる限り地元で捕れた魚の提供です。観光のお客さんに刺盛や海鮮丼は人気で、大変喜んでいただいています。

問 体調は大丈夫ですか。

答 去年よりいいです。

問 お酒は飲みますか。

答 昔は1日2升、今は呑んでいません。

問 2升!? 2升はすごいですね（汗）

答 それが蓄積されて今に響いているようです（笑）

問 町民のみなさんに一言。

答 法事などの会食も、お弁当は冷めますが、作り立ての温かい料理を食べて欲しいと思いますので、お気軽にお問い合わせください。

【取材を終えて】

家族でお互いを思いやりながら、お仕事に取り組んでる雰囲気、愛を感じ、素敵でした！

新人議員紹介ッ！

昨年4月の統一地方選挙から1年が過ぎました。当初候補者不足が心配されていましたが、新人6人含む10人の候補者が出馬し、8年ぶりの選挙が大変な盛り上がりを見せたのは記憶に新しいところです。結果、4人の新人議員が誕生し、議会に新風が吹き日々活発な議論が繰り広げられています。「名前や顔は知っているけれど、どういう人か分からない。」「どんな思いをもって議員になったのか聞いてみたい。」そんな皆さんに、新人議員をご紹介します！



強面だが瞳の奥には優しさを感じる

議員番号七番 江川 春朝 議員

問 本気になったのは6年前からです。同級生を海で亡くし、海に行く機会が増えました。私と海の距離が縮まり、海と一心同体を感じた瞬間、海ごみを今まで見て見ぬふりしてごめん、子どもの頃、毎日のようにお世話になって育ったのに、本当にごめん、という感情からです。

問 今後の議員活動について目標や抱負を聞かせてください。

答 またどのようなことをされるのか具体的に聞かせてください。

問 昔からズルズルと引きずっているだけのよう、費用対効果が小さい事業などは、勇気をもって廃止し、次世代に繋がる事業、未来への投資に回していきたいです。

問 ありがとうございます！

問 まずは自己紹介を。

答 子供の頃より、町民のみなさんに、ご迷惑をおかけしている、江川春朝です。

問 北松西を卒業後、一度島外へと出られています、小値賀に帰る決断をした理由を聞かせてください。

答 自分が気付かないうちに、小値賀でしか生きていけない身体に育てられていました（笑）。都会には多くの人がいるのに、人間同士がすり抜ける、正直、私は都会が合いません。

問 議員になって1年と8ヶ月経ちます。感想を聞かせてください。

答 産まれてからこれまで悩みを温存して生きてきました（ただの勉強嫌い）。その赤ちゃんのような、シワひとつなかった私の脳みそに、シワが出来てきてるような、そんな感じです。

問 新人でありながら副議長に立候補されました。

答 かなり思い切った決断だったと思います、その理由を聞かせてください。

みんなの意見箱

設置しています！



記入用紙はこちら！



この意見箱は小値賀町議会が設置したもので、みなさんの町政に関するご意見を広くお聞きし、それをもとに政策を立案、執行機関への提案を行うことで、住民の福祉を増進させることを目的としています。

※町が所管していないことに関するもの、公共の福祉に反するもの、議員及び小値賀町職員に対する苦情は、意見としては取り扱わず、議会事務局で保管します。
※定期的に議会事務局職員が回収し、ご意見の内容は議員全員で確認します。

設置3ヶ所



こども園玄関職員室横



診療所薬局前



役場玄関

小値賀町議会
Facebook



小値賀町議会
YouTube



『ギカイの窓』も開いています！

電話 0959-56-3111 役場内議会事務局
メール gikaisodan@town.ojika.lg.jp

編集後記

先月、養寿園、暖家の職員さんの話を伺う機会があり、大変心にしみる内容ばかりでした。

食事、入浴、排泄、認知症、家族でもできないような、大変な作業を24時間365日、毎日笑顔でこなし、今まで小値賀町を支えてきてくれたお年寄りの方の、命が尽きる最後の最後まで、寄り添い、人の手の温もりを与え続けるスーパーマン、それが介護・看護職です。

その、社会貢献度も高く敬意を評される筈の、介護の現場で人手不足が進んでいます。高齢になつたら島を出なくてはならないような町に、未来はない！

私達議員も全力でサポートします。町民の皆さんも、島外のご親戚、ご友人へお声掛けをお願いします。

介護に携わるみなさん、本当にいつもありがとうございます！

編集員 江川 春朝